

福成会の

ちよつと素敵なた話

「福成会で

働き続けられた」

No.2



福成会に入職してから十年目まで、自分の苦手な仕事はしたくありませんでした。先輩スタッフからのアドバイスを素直に受け入れられず、何かにつけて負のイメージばかり持っていました。

周りのスタッフに、「もう事業所を辞める。」と言っていました。

しかし、十年が経過した頃、気持ちに変化が出始めました。

今の職場の立ち位置で何を期待されているのか、周りのスタッフが何に困り、助けてほしいのかを常に考えながら働きました。

自分のために働いているときは、仕事に対するモチベーションが低い状態でした。しかし、周りのスタッフのことを思いながら仕事をすることで、意欲的に働くことができました。

例えば、事業所内の電球交換、利用者支援のグッズ作成など、自分の担当業務以外も率先して協力をしました。

他のスタッフも、声を掛け合い、相手のことを考えて行動し、チームワークが良好です。そして、チームを大切にし、全員で目的に向けて動いています。

理由のひとつにマスタープランを全スタッフで考え、意見を吸い上げています。そして、意見を吸い上げるだけでなく、それを実現に向けて動いていることが福成会で働き続けるポイントです。

また、事業所内での困りごとを聴き入れ、実現に向けて常に働きやすい環境に整備してくれれます。

例えば、資格取得の助成制度を作ったり、有資格者が資格取得の学習会を企画してくれたりします。そして、育児&介護休業など、色々な就業改善に向けて法人が

動いてくれているので、ありがたい職場であると感じます。

スタッフを大切にすることをしっかりと行動で示されており、ここまで考えてくれる職場に出会えたことに感謝しています。